



【答へ】症状からみて「舌痛症」が疑われます。この病気は舌に限らず口の中が痛くなる「口腔灼熱(こうくうしゃくねつ)症候群」の一つで、更年期以降の女

を感じたりするもので、その強さはさまざまです。そして、食事や会話のときには痛みがないことも特徴の一つです。

舌苔なのか、病気などの異常なのかは歯科医院で確認

か治らない口の中の痛みは、痛んでいる場所にその原因がないことが多いために、診断、治療に難渋することがあります。患者さんの中には心理的・社会的要因が関与していることもあり、大学病院の「オーラルペイン・リエゾン外来」など他の診療科と連携しながら治療できる施設でないと、対応が難しいこともあります。まずは歯科医院で舌の状態をよく診てもらった上で、必要があれば大学病院などを紹介してもらいましょう。

舌がピリピリする

舌痛症の疑い、受診を

【問い】30年ほど前から舌がピリピリしています。いろいろな診療料を受診しましたが治りません。最近、舌の真ん中の表面が少し白くなって気にしています。食事は味もあり、食べるときは痛みもないし、ピリピリもしないのですが、ずっとこの症状が続いており、悩んでいます。どうしたらいいのでしょうか。
(西彼時津町、81歳女性)

性に多く発症します。ビタミンB欠乏症、鉄欠乏性貧血、ストレスおよび舌への慢性的な刺激などにより二次的に舌の痛みが起こる場合もありますが、原因ははっきりしていません。

の二次的に痛みを起こす原因がないことを確認し、薬物療法や認知療法などによる治療が行われます。

舌の表面が白くなったとありますが、舌の表面には少量の白い「舌苔(せつ)

から注意しましょう。舌痛症に限らず、なかなか

質問をどうぞ 歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

(県歯科医師会医療情報委員会)